

2 通商擁護法の制定を中心とする通商政策関係

在仏国佐藤大使、在米国斎藤大使他宛電報合
商標法改正法案要点
第二八三号

282 昭和9年3月10日 広田外務大臣より

在英國松平大使、在仏国佐藤大使、在
米国斎藤大使他宛(電報)

通商擁護法および関連法案の議会提出とその制

定趣意について

付記一 三月十日発広田外務大臣より在英國松平大使、
在仏国佐藤大使、在米国斎藤大使他宛電報合

第二八〇号

通商擁護法案要旨

二 三月十日発広田外務大臣より在英國松平大使、
在仏国佐藤大使、在米国斎藤大使他宛電報合

第二八一號

輸出組合法改正法案要旨

三 三月十日発広田外務大臣より在英國松平大使、
在仏国佐藤大使、在米国斎藤大使他宛電報合

第二八二號

不正競争防止法案要旨

四 三月十日発広田外務大臣より在英國松平大使、
在仏国佐藤大使、在米国斎藤大使他宛電報合

第二八三號

第三条十日発広田外務大臣より在英國松平大使、
在仏国佐藤大使、在米国斎藤大使他宛電報合

第二八四號

第三条十日発広田外務大臣より在英國松平大使、
在仏国佐藤大使、在米国斎藤大使他宛電報合

第二八五號

第三条十日発広田外務大臣より在英國松平大使、
在仏国佐藤大使、在米国斎藤大使他宛電報合

第二八六號

第三条十日発広田外務大臣より在英國松平大使、
在仏国佐藤大使、在米国斎藤大使他宛電報合

第二八七號

第三条十日発広田外務大臣より在英國松平大使、
在仏国佐藤大使、在米国斎藤大使他宛電報合

第二八八號

第三条十日発広田外務大臣より在英國松平大使、
在仏国佐藤大使、在米国斎藤大使他宛電報合

第二八九號

第三条十日発広田外務大臣より在英國松平大使、
在仏国佐藤大使、在米国斎藤大使他宛電報合

第二九〇號

第三条十日発広田外務大臣より在英國松平大使、
在仏国佐藤大使、在米国斎藤大使他宛電報合

第二九一號

第三条十日発広田外務大臣より在英國松平大使、
在仏国佐藤大使、在米国斎藤大使他宛電報合

第二九二號

第三条十日発広田外務大臣より在英國松平大使、
在仏国佐藤大使、在米国斎藤大使他宛電報合

第二九三號

第三条十日発広田外務大臣より在英國松平大使、
在仏国佐藤大使、在米国斎藤大使他宛電報合

第二九四號

第三条十日発広田外務大臣より在英國松平大使、
在仏国佐藤大使、在米国斎藤大使他宛電報合

第二九五號

第三条十日発広田外務大臣より在英國松平大使、
在仏国佐藤大使、在米国斎藤大使他宛電報合

第二九六號

第三条十日発広田外務大臣より在英國松平大使、
在仏国佐藤大使、在米国斎藤大使他宛電報合

第二九七號

第三条十日発広田外務大臣より在英國松平大使、
在仏国佐藤大使、在米国斎藤大使他宛電報合

第二九八號

第三条十日発広田外務大臣より在英國松平大使、
在仏国佐藤大使、在米国斎藤大使他宛電報合

第二九九號

第三条十日発広田外務大臣より在英國松平大使、
在仏国佐藤大使、在米国斎藤大使他宛電報合

第三〇〇號

本省 3月10日後9時発

合第二七九號

客年往電合第二一二七號ニ關シ

第一九日「貿易調節及通商擁護ニ關スル法律案」(要旨往電合
第二八〇號)ヲ議會ニ提出セリ

二、輸出統制ニ付テハ能フ限り輸出組合強化ノ目的ヲ以テ既ニ輸出組合法
ル方針ニシテ輸出組合強化ノ目的ヲ以テ既ニ輸出組合法

改正法案(要旨往電合第一八一號)ヲ提出シ何レモ議
會中改正法案(要旨往電合第一八三號)ヲ提出セリ

三、右ノ外不正競争防止法案(要旨往電合第一八二號)及商標
法中改正法案(要旨往電合第一八三號)ヲ提出シ何レモ議
會ニ於テ審議中ナルカ右二法案ノ法律トナルヲ待テ一九
二五年工業所有權保護同盟條約ヲ批准スル考ヲ以テ右準
備中ナリ

四、要之前記法律ハ現下ノ情勢ニ鑑ミ諸外國トノ經濟的協力
ヲ促進シ本邦品ニ對スル防遏手段ノ緩和ヲ圖ラントスル

他方本邦品ニ對シ不當ナル壓迫手段ヲ加ヘントスル國ニ

出ツルコトトシ主務大臣必要ト認ムルトキハ右數量又ハ

價格ノ變更ヲ命スルコトヲ得ルコトトス

(三)主務大臣ハ組合員及「アウトサイダー」ニ對シ組合ノ定

ムル取締又ハ制限ニ從フヘキコトヲ命スルコトヲ得ルモ

ノトシ違反者ニ對スル罰則適用ヲ強化セリ

(付記三)

本省 3月10日後9時発
合第二八二號

不正競争防止法案要旨左ノ通り

(一)不正競争ノ目的ヲ以テ(イ)本法施行地域内ニ於テ取引上廣ク認識セラルル他人ノ氏名、商號、商標、商品ノ容器包装等他人ノ商品ノ表示ト同一若ハ類似ノモノヲ使用シ又ハ之ヲ使用シタル商品ヲ販賣若ハ擴布シテ他人ノ商品ト混同ヲ生セシムル行爲(ロ)假設又ハ借用ノ商號ニ附加シテ商品ニ虛偽ノ原產地ヲ表示シ又ハ之ヲ表示シタル商品ヲ販賣擴布シテ原產地ノ誤認ヲ生セシムル行爲(ハ)他人ノ商品ノ信用ヲ害スル虛偽ノ事實ヲ陳述又ハ流布スル行爲

ヲ爲シタル者ハ損害賠償ノ責ニ任シ裁判所ハ被害者ノ請

(付記四)

本省 3月10日後9時発
合第二八三號

商標法中改正法律案ノ要點左ノ通

商標法中商標トシテ登録ヲ許ササル事項(第二條)ニ左ノ二

求ニ因リ右行爲ノ差止ヲ命シ又ハノ行爲ニ對シテハ商品ノ信用ヲ回復スルニ必要ナル處置ヲ命スルコトヲ得(第一條)

(二)商品ノ普通名稱若ハ取引上普通ニ同種ノ商品ニ慣用セラル地名ニ關シテハ第一條ノ規定ヲ適用セス(第二條)

(三)本法施行地域内ニ住所又ハ營業所ヲ有セサル外國人ハ原則トシテ第一條ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス(第三條)

四國ノ紋章、旗章等若ハ官ノ監督用又ハ證明用ノ印章等ハ商標トシテ使用スルコトヲ得ス(第四條、第五條)

(五)特許法、實用新案法、意匠法又ハ商標法ニ依ル權利ノ行使タル行爲ニハ本法ノ適用ナシ(第六條)

(六)本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ定ム(附則)

混同ヲ生セシムル行爲(ロ)假設又ハ借用ノ商號ニ附加シテ商品ニ虛偽ノ原產地ヲ表示シ又ハ之ヲ表示シタル商品ヲ販賣擴布シテ原產地ノ誤認ヲ生セシムル行爲(ハ)他人ノ商品ノ信用ヲ害スル虛偽ノ事實ヲ陳述又ハ流布スル行爲

ヲ爲シタル者ハ損害賠償ノ責ニ任シ裁判所ハ被害者ノ請

混同ヲ生セシムル行爲(ロ)假設又ハ借用ノ商號ニ附加シテ商品ニ虛偽ノ原產地ヲ表示シ又ハ之ヲ表示シタル商品ヲ販賣擴布シテ原產地ノ誤認ヲ生セシムル行爲(ハ)他人ノ商品ノ信用ヲ害スル虛偽ノ事實ヲ陳述又ハ流布スル行爲

ヲ爲シタル者ハ損害賠償ノ責ニ任シ裁判所ハ被害者ノ請

項ヲ追加ス

一、工業所有權保護同盟條約國ノ國ノ紋章、旗章、其他ノ徽章ニシテ主務大臣ノ指定スルモノト同一又ハ類似ノモノ
三、工業所有權保護同盟條約國ノ官ノ監督用又ハ証明用ノ印
章又ハ記號ニシテ主務大臣ノ指定スルモノト同一又ハ類似ニシテ同一又ハ類似ノ商品ニ使用スルモノ

283

昭和九年3月14日

広田外務大臣より
在英國松平大使宛

諸外国の本邦品防遏措置への通商擁護法など
による対処方策につき訓令

通一機密合第二八九號

昭和九年三月十四日

外務大臣 廣田 弘毅

諸外國ノ本邦品防遏ニ對スル方策ニ關スル件

本件ニ關シ帝國政府ニ於テ種々考究中ノ次第八客年十二月初往電ヲ以テ申進ニ本年三月其ノ後ノ成行ニ付不取敢電報シ置タルカ右補足旁左記ノ通申進ス

一、通商審議委員會ニ於テハ客年末以來(イ)輸出統制(ロ)關稅制

度ノ改正及ハ片貿易調整其ノ他貿易伸張策ノ三箇ノ問題ニ付審議ヲ進メ居タルガ最近益々激化シツ、アル諸外國ノ本邦品防遏ニ對シ速ニ何等對策ヲ講ズル必要アルコト竝ニ諸外國ノ輸入防遏手段ハ著シク其ノ態様ヲ異ニスルヲ以テ之ガ對策モ臨機應変ノモノタルコトヲ要スルコトヲ認メ二月二十三日ノ會議ニ於テ別紙甲號ノ如キ答申ヲ爲セリ尙關係省ニ於テモ通商審議委員會ト並行シテ夫々審議ヲ進メ居タルガ前記答申ニ關聯シ「貿易調節及通商擁護ニ關スル法律案」(別紙乙號)ヲ三月九日議會ニ提出セリ

三、右法律案ノ規定ハ一見關稅定率法第四條ノ規定ニ似タルモ關稅定率法第四條ハ外國ガ本邦重要輸出品ニ對シ關稅引上、輸入制限等ヲ爲シ事實上殆ド本邦ノミガ打擊ヲ受クル場合ニテモ形式上他ノ國ニモ同様ノ關稅、輸入制限等ガ適用セラルル場合ニハ差別待遇ニ非ザルヲ以テ發動シ得ザルモノト解セラルルニ反シ右法律案ニ依レバ外國ノ差別待遇ヲ待チテ始メテ對抗的措置ヲ執リ得ルニ非ズ外國ガ本邦ノ通商ニ壓迫ヲ加ヘタル場合ハ勿論壓迫ヲ加ヘントスル場合ニ於テモ形勢ノ如何ニ依リ機宜ノ措置ヲ執リ得ル次第シテ

禁止制限ニ及ビ得ル次第ナリ又必要ニ應ジ條約ヲ締結スルコトナク機宜ノ措置トシテ互惠税率ノ設定ヲモ爲シ得ルコトナル次第ナリ(尤モ税率ノ減免ニ付テハ關係省及國內關係產業ヨリ種々ノ反対アルベク其ノ實現ハ容易ナラザルベシ)尙全般的複稅制度採用ノ問題ニ付テハ通商審議委員會及關係省ニ於テ種々審議ヲ重ねタルガ原料品輸入國タル本邦ノ立場、各國トノ貿易關係等ニ鑑ミ一層慎重ナル研究ヲ要ストノ意見多ク遂ニ別紙乙號ノ如キ法律案ヲ提出スルコトニ決定シタルモノナルガ同法案ノ規定ニ依ルモ或ル特定國ニ於テ條約ヲ廢棄シ本邦品ニ對シ輸入防遏的措置ヲ執ランストルガ如キ場合ニ於テハ我方ニ於テ當該國ヨリノ輸入品目ニ付部分的複關稅制度ヲ設ケ條約ノ廢棄ヲ防止シ又ハ新通商條約ノ締結交渉ニ便ナラシムルガ如キ方策ヲ採用スルコトヲ得ベシ(例ヘバ或ル國ガ通商條約ヲ廢棄セントスル場合國ヨリ本邦ヘ輸入スル品目ニシテ他ニモ輸出國アルモノヲ選定シ之ニ付有條約國ニ對スル關稅ト無條約國ニ對スル關稅トヲ設ケ條約失效セバ當該國ガ不利ナル立場ニ置カルルコトヲ明ニ爲シ其ノ反省ヲ促スガ如シ)

三、尙前記「貿易調節及通商擁護ニ關スル法案」ハ場合ニ依

右二法案ハ最近諸外國ニ於テ本邦品ノ不正競爭力問題トセラレ本邦品防遏ノ口實トシテ利用セラレ居ルノ事實ニ鑑ミ一九二五年工業所有權保護同盟條約ノ規定ニ則リ不正競爭防止ヲ實行シ併セテ本邦品防遏ノ口實ノ一ヲ除カントスルモノニシテ右二法案ノ法律トナルヲ待テ前記條約ヲ批准スル考ヲ以テ右準備中ナリ

五、前記諸法案ハ何レモ日下議會ニ於テ審議中ナルカ會期ノ殘少ナキ關係モアリ其ノ成行ニ付テハ若干ノ懸念ナキ能ハズト雖モ不取敢右申進ス

本信送付先 在外各公館

附屬書甲號 答申第一號 通商審議委員會答申

世界各地ニ進出シ居レル本邦品ニ對スル各國ノ輸入防遏的措置ハ最近特ニ甚シキヲ加ヘ中ニハ本邦トノ間ノ通商條約ヲモ廢棄セントスルノ情勢ニ在リ仍テ政府ハ本邦ノ通商ヲ擁護スル爲機宜ノ措置ヲ講シ得ル様至急法律ヲ制定セラルノ要アリト認ム

リ貿易ノ調節ノ爲ニモ發動シ得ルコトトナリ居リ必要ニ應ジ貿易均衡策ノ實行ニモ利用シ得ル次第ナリ尤モ片貿易調整ニ付テハ政府トシテモ充分考慮ヲ加フル考ニシテ現ニ南阿、南米等本邦ヨリ著シク出超關係ニ在ル國ニ對シテハ種々相手國產品輸入增加ノ爲努力シ居ル次第ナルモ實際問題トシテハ此等ノ國ヨリ購買增加ヲ要求セラルモ產品ノ種類、性質、運賃其ノ他諸般ノ關係上實行困難ナル場合多ク此等ノ國ヨリ過度ニ種々ノ要求ヲ受クルノ傾向ヲ馴致スルコトハ好マシカラザルニ付右御含置相成度シ又必要ナル場合輸出ノ統制ヲ本法ニ依リ強行スルコトヲ得ル次第ナルガ輸出統制ニ付テハ能フ限り政府ノ指導監督ノ下ニ輸出組合ヲシテ之ヲ實行セシメ度キ方針ニシテ輸出組合ヲ強化シ政府ノ監督ヲ有效ナラシムル爲既ニ輸出組合法中改正法案(別紙丙號)ヲ議會ニ提出シ日下審議中ナリ尙輸出品中水產物ニ關シテハ其ノ性質上特殊ノ統制ヲ必要トスルヲ以テ右目的ノ爲「輸出水產物取締法案」(別紙丁號)ヲ議會ニ提出セリ

四、右ノ外「不正競爭防止法案」(別紙戊號)及「商標法中改正法案」(別紙己號)ヲ提出シ何レモ議會ニ於テ審議中ナリ

編注 本信は、在中国、在滿州國、および在ソ連邦以外の全在外公館に送付された。

284 昭和9年4月12日 広田外務大臣より
在英國松平大使他宛

通商擁護法の解釈および運用に關し注意すべ
き諸点について

通一機密合第四一二三號 昭和九年四月十二日

外務大臣 廣田 弘毅

諸外國ノ本邦品防遏ニ對スル方策ニ關スル件
本件ニ關シ三月十四日附通一機密合第二八九號ヲ以テ申進置タル處重テ左記申進ス

一、貿易調節及通商擁護ニ關スル法律案ハ第一條中「關稅調查委員會ニ諮詢シ」トアルヲ「關稅調查委員會ノ議ヲ經テ」トスルコト及附則中有效期間五ヶ年ヲ三ヶ年トスルコトノ二點修正ノ上議會ヲ通過シ四月七日官報ヲ以テ公布セラレタリ

議會ニ於ケル本法案審議ニ當リ特ニ問題トナリタル點ニ

シテ本法ノ解釋及運用ニ關シ注意スベキ點左ノ如シ

(1) 本法ハ其ノ主眼トスル所ハ防衛ニ在ルヲ以テ進デ外國トノ間ニ事ヲ構ヘントスルモノニ非ズ其ノ發動ハ外國ニ於テ本邦ノ通商ニ對シ何等カノ措置ヲ執リタル場合又ハ何等カノ措置ヲ執ラントスル形勢アル場合タルヲ要スル次第ナリ

(2) 本法ト關稅定率法第四條トノ關係ニ付テハ冒頭往信ニモ記載シ置タルガ注意スベキハ外國ノ本邦ニ對スル差別待遇ニ對シテ報復セントスル場合ナリ右ノ場合關稅定率法第四條ハ勿論本法ヲモ適用シ得ル次第ナルガ理論上極端ナル場合ニ付テ言ヘバ關稅定率法第四條ニ依ル關稅從課^(原カ)十割ニ加へテ更ニ本法ニ依ル從課^(原カ)十割即チ

從價二十割迄ノ特別關稅ヲ課シ得ル次第ナリ尤モ右ハ關稅重課ノ最高限度ヲ示スニ止リ現實ニ幾割ヲ重課スルカハ其ノ情勢ニ應ジ政府ノ裁量ニ依リ之ヲ決スベキモノナルハ勿論ナリ

(3) 本法ノ發動ハ貿易ノ調節若ハ通商ノ擁護ノ目的ニ出ヅルコトヲ必要トスルコトトナリ居ル處通商ノ擁護ニ付テハ格別疑問ナキモ貿易ノ調節ニ付テハ議會ニ於テ種々記載ノ通公布セラレタリ

ムル様適當ノ策ヲ講ズルコトトナルベシ

三、冒頭往信所載ノ輸出組合法中改正法案(三月二十九日官報公布)、不正競争防止法案及商標法中改正法案(以上三月二十七日官報公布)、輸出水產物取締法案(三月二十九日官報公布)何レモ無修正ニテ議會ヲ通過シ夫々括弧内記載ノ通公布セラレタリ

編注 本信は、在中国、在滿州國および在ソ連邦以外の全在外公館に送付された。

285 昭和9年5月14日 広田外務大臣より
在英國松平大使、在米國齋藤大使、在
仏國佐藤大使他宛(電報)

我が方通商機關拡充方策に関する意見回示方訓令

本省 5月14日後6時20分発

合第五四八號

世界現下ノ情勢ニ鑑ミ外務省諸機關ノ經濟的活動ニ資スル爲本省及在外公館ノ組織及事務ノ取扱等ニ關スル貴見並ニ責任國貿易關係諸機關ノ組織、豫算等ノ要領回電詳細回報アリタシ

質疑應答ヲ重ねタル結果右ハ主トシテ本邦ノ國際收支

ノ均衡ノ見地ヨリ貿易調節ヲ計ル必要アル場合ヲ指スモノト諒解スベキコトナレリ即チ本法ニ謂フ貿易調節トハ個々ノ國トノ貿易ノ均衡ノ趣旨ヲ含マザルモノト解スベキコトナル次第ナリ尤モ本邦通商擁護ノ見地ヨリ特定國トノ貿易均衡又ハ片貿易調整が必要ナル場合ニハ右目的ノ爲本法ニ依リ適當ナル措置ヲ執リ得ルコト勿論ナリ

(2) 關稅調查委員會ニ付テハ議會ニ於テ之ヲ擴充シ民間委員又ハ議會代表者ヲ參加セシムベシトノ聲高ク貴族院ニ於テハ本法案ニ右趣旨ノ附帶決議ヲ爲シタリ且下委員會ノ擴充ニ付考究中ナリ

又議會ニ於テ第一條ニ加ヘラレタル修正ノ趣旨ハ原案ニ於テ關稅調查委員會ヲ諮詢機關トシタルヲ委員會ニ權威ヲ賦與スル爲之ヲ決議機關ト爲シタルモノナリ(本法ハ内地ノ外朝鮮、台灣及樺太ニモ之ヲ適用スルコトトナル筈ナリ)關東州ニ付テハ自由地域タルコト其ノ他複雜ナル關係アルヲ以テ本法ヲ適用スルコトナキモ輸出入禁止制限ニ關シテハ適宜内地ノ方針ト協調セシ充方策につき意見具申

286 昭和9年5月17日 在ベルギー有田大使より
広田外務大臣宛(電報)

各在外公館への商務官の網羅的配属や商務官相互連絡の必要性など我が方通商關係機關拡充方策につき意見具申

プラッセル 5月17日後発

本省 5月18日前着

第五六號(極秘)

貴電合第五四八號ニ關シ(通商關係機關擴充ニ關スル件)
一、貿易進展ノ機關トシテノ我在外公館ノ缺點ハ

(1) 取扱者カ概シテ商業ニ關スル専門知識ニ乏シク日本内地ノ經濟事情ニモ疎キコト

(2) 手不足勝ニテ大多數ノ公館ニテ此ノ方面ニ特ニ力ヲ注クノ餘裕無キコト

(3) 在外公館相互間ノ連絡情報ノ交換等不十分ナルコト等ナルヘシ

二、從テ我市場ヲ世界ニ求ムルヲ要スル現狀ニ於テハ各在外公館ニ商務官及商務書記生ヲ洩レ無ク配屬セシムルト同時ニ商務官相互間ノ連絡ヲ密接ナラシムル爲時々會合ヲ

催サシメ又平生相互間情報交換ヲ全カラシムルト共ニ他

方在外商務官ト内地トノ連絡ヲ密接ナラシムルコト必要

ナリ

織および事務取扱いの調整が必要な旨意見具申

ハーベ 5月22日後発
本省 5月23日前着

三、但經費ノ關係其ノ他已ムヲ得サル事情ニテ十分ノ人數ヲ

配屬シ難クムハ商務書記生ヲ各館ニ配置シ商務官ハ中心

地點(歐洲ニ付テ言ヘハ少ク共東歐、南歐、北歐、西歐

ノ重要地點)ニ之ヲ置キ擔任地域ヲ定メ右地域内ノ商務

書記生ヲ指導セシムルノ外無カルヘシ

四、其ノ他商務書記官、書記生ニハ成ルヘク頻繁ニ旅行セシ

ムルコト(經費ノ膨張ヲ避ケ旅行ヲ容易ナラシムル爲ニ

ハ旅費規則ニ例外ヲ設クル等ノ方法ニ依リ特殊ノ取扱ヲ

爲シ得ヘシ)

五、商務官指導ノ下ニ旅商ヲ活動セシムルコト

六、歐洲ニ於ケル商務官事務所中ノ一ヲ出來得ル丈ヶ完備セ

シメ他館ヲシテ成ルヘク之ヲ利用セシムル様スルコト

昭和9年5月22日 在オランダ武富公使より
広田外務大臣宛(電報)

我が方通商機関拡充方策として在外公館の組

287

(一)、在外公館ノ組織トシテハ人員ノ充實最モ必要ナリ少數ノ例外ヲ除ケハ何レモ手不足ナル現狀ニテハ經濟事項迄仕事ノ割振覺束無キニ非スヤト察セラル

(二)、經濟ト政治トノ相關性益々密接トナレル今日經濟關係事項ヲ兔角専門家ノ仕事ト爲シ勝チナル取扱振ハ之ヲ改ムル必要有リ甚シキハ世界經濟ノ趨向乃至任國ノ經濟の大勢ノ考察事項迄モ一商務官又ハ商務擔當者ノミニ任セ置クカ如キ遣方ニテハ所謂經濟外交ノ實ハ舉ケ難カルヘシ

(三)、經濟事項中専門的考察乃至技術ヲ要スルモノハ他省ヨリ派駐ノ官吏ニ處理セシメ(貿易通信員ノ現狀ヲ改善スルコト及商務官ノ歸屬等考慮ニ值スヘシ)又國情ニ應シ商務官、農務官等他省ヨリノ派駐モ可ナルヘク唯是等他省官吏ヲ大局ヨリ統督指導シ且我在外公館活動ノ用ニ供シ得ル様組織及權限ニ注意ノ要アルヘシ

四、時ニ應シ適當ノ人物ヲ本省ヨリ出張セシメ諸案件ニ關スル本省ノ意嚮ヲ親シク傳ヘラルルコトハ經濟事項ニ付テモ極メテ肝要ニシテ又關係在外公館相互間ノ連絡ヲ今一層密ニスル途ヲ講スルコトモ必要ナリ

(五)、時勢ノ要求及狀勢ノ變化ニ應シ在外公館殊ニ領事館ノ配置ニ付今後共改廢増減ノ要有ルヘシ

尚⁽³⁾今日ノ歐米諸國ノ多クハ通商經濟關係ノ國際的事項モ國内官廳ニテ實際的處理ヲ爲ス風有リ國際交渉ノ如キモ實質ノ問題ハ外務省ソツチ除ケノ觀ヲ呈スル現狀ナルカ右ハ專

門ニ墮シテ國際關係ノ考慮ヲ輕ンシ種々ノ弊害ヲ伴フトノ議論有リ各國外務省筋ニテハ憤慨シ居ルモノ有ルヲ聞クト共ニ要ハ實力ノ問題ナルヲ以テ此ノ大勢ヲ挽回スル爲ニハ

内外ノ外交機關力能ク他省ヲ誘導シ啓發スル丈ケノ經濟事

第七九號

貴電合第五四八號ニ關シ(通商關係機關擴充ニ關スル件)

通商貿易乃至經濟事項ノ範圍ハ廣汎且錯綜セルヲ以テ先ツ國內諸關係官廳トノ連絡ヲ正シクシ外務省ノ經濟的活動ノ範圍ヲ今一層明カニシタル上在外公館ノ組織及事務取扱方ヲ適當ニ調整スルコト至當ト考ヘラルル處現狀ノ下ニ於テモ

貴電合第五四八號ニ關シ(通商關係機關擴充ニ關スル件)

通商貿易乃至經濟事項ノ範圍ハ廣汎且錯綜セルヲ以テ先ツ國內諸關係官廳トノ連絡ヲ正シクシ外務省ノ經濟的活動ノ範圍ヲ今一層明カニシタル上在外公館ノ組織及事務取扱方ヲ適當ニ調整スルコト至當ト考ヘラルル處現狀ノ下ニ於テモ

貴電合第五四八號ニ關シ(通商關係機關擴充ニ關スル件)

通商貿易乃至經濟事項ノ範圍ハ廣汎且錯綜セルヲ以テ先ツ國內諸關係官廳トノ連絡ヲ正シクシ外務省ノ經濟的活動ノ範圍ヲ今一層明カニシタル上在外公館ノ組織及事務取扱方ヲ適當ニ調整スルコト至當ト考ヘラルル處現狀ノ下ニ於テモ

貴電合第五四八號ニ關シ(通商關係機關擴充ニ關スル件)

本件ニ關スル意見ハ本使近ク歸朝ノ上詳細具申ス可キモ現下ノ狀勢ニ於テ最モ緊要ト認メラル方策不取敢左ノ通

ト、「ルーズヴェルト」政府ハ成立以來主力ヲ經濟復興ニ

注キ諸般ノ經濟的施設ハ本邦ノ對米通商ニモ影響スル所

鮮カラサル處是等施設ニ對スル觀察並ニ我商權擁護ニ關スル交渉事務例へハ最近當國政府側ニ於テ頻リニ行ヒツソアル本邦ヨリノ輸入防遏手段ニ對スル交渉ノ如キハ當館ニ於テ其ノ衝ニ當リ來リ今後モ之ヲ繼讀ス可キモ當國輸入業者又ハ製造業者トノ折衝乃至聯絡等實際的方面ニ關シテハ在紐育商務官ノ活動ニ俟タサル可カラス從テ此ノ際紐育商務官ノ活動ヲ充分ナラシムル爲其ノ補助者ノ增員問題ニ關シ考慮ヲ加ヘラルト共ニ前記當館ニ於ケル最近ノ通商關係事務ノ激増ニ鑑ミ米國經濟活動ノ重心カ益々政府ノ手中ニ移ラントシツソアル現在ノ狀勢ノ存續スル限り當館ニモ名實共ニ備ハレル商務官又ハ副商務官ノ如キ者ヲ配置シ紐育側トノ緊密ナル聯絡ニ遺漏無キ

ヲ期スルコトトシ依テ年來ノ懸案ヲ御決定アル様御詮議相成度尙客年往電第八七八號稟請ノ「ローヤー」雇入ノ件ハ米國側方策ヲ豫知シ之ニ對スル適切ナル對策ヲ講スル上ニ於テ今日益々其ノ緊要ナルヲ痛感セラルニ付之力實現方併セテ考慮ヲ希望ス右ニ關シテハ本使ニ於テ適當ト認ムル候補者アリ其ノ經費等ニ付テハ何レ案ヲ具シ

テ稟請致ス可シ

〔〕、當國西部地方ニ商務官設置ノ件ハ久シキ以前ヨリ其ノ必要唱ヘラレタルコトナルカ未タニ其ノ實現ヲ見サルハ現在ノ事態ニ於テ遺憾トスル所鮮カラサルニ付此ノ際桑港ニ商務領事又ハ商務副領事ヲ、又羅府「シアトル」ニモ商務副領事又ハ商務ニ堪能ナル書記生ノ配屬ヲ必要トス可ク更ニ萬全ヲ期スル爲ニハ市俄古「ニューオルレアンス」ニモ同様商務職員ノ充實ヲ計ルコト時宜ニ適スルモノト認メラル要スルニ此ノ際所謂商務官網ヲ設置シ有能ナル人物ヲ選擇配置スルコト我對米經濟的活動ヲ敏活ナラシメ商權ヲ擁護スル所以ナリト存セラル（紐育總領事、商務官ト打合濟）

289 昭和9年6月28日 在仏國佐藤大使より
廣田外務大臣宛（電報）

貿易実務に精通した商務官の配置、屬領の情
報収集および対日世論の善導など我が方通商
関係機関拡充方策につき意見具申

第三五〇號

貴電合第五四八號ニ關シ（通商關係機關擴充ニ關スル件）

〔〕諸外國ハ次第ニ「バーター」制ヲ基礎トスル輸出促進制度ニ轉換シツツアルカ故ニ我ニ於テモ之ニ對應シ早キニ及ンテ貿易制度ニ變革ヲ加フルヲ要スヘク其ノ場合ニ於ケル在外公館ノ組織ハ内地ノ統制組織ニ應シ重大ナル變革ヲ受クヘキコト勿論ナルカ差當リ當館ノ如ク假令貿易關係上重大ナラサルモ煩（難）ナル制限制度ヲ有シ且歐洲大陸ノ經濟政策ニ相當ノ指導的地位ヲ占ムル國ニアル公館ニハ實際貿易ニ充分經驗有ル商務官ヲ置キ「スタッフ」ヲ充實シ且相當ノ交際手當、旅費ヲ給シ一方佛國民ト密接ナル接觸ヲ保チテ通商交涉ニ當ルト共ニ時々近東、阿弗利加等當該國ノ屬領ヲ旅行シ同方面ノ我商權ノ保護擴張情報ノ蒐集、對日感情ノ善導ヲ爲サシメ且少クトモ二年ニ三度ハ歸朝シ本邦ノ新經濟狀況ヲ視察セシメル事トシ他方在留各商社ヲシテ成ルヘク聯絡ヲ保タシメ必要ノ場合ニ共同戰線ヲ張ラシムル様指導セシムル事緊要ナリト思考ス

尙佛國特有ノ事情トシテハ相當面白キ新奇ノ發明發見多ク眞面目ニ考究スル價值アルモノ時々有之様ナルヲ以テ其ノ發明等ヲ賣込ミニ來レル場合ノ價值判斷等ニ便スル爲我商工省邊リヨリ技術官ヲ巴里ニ出張駐在セシメ便宜上之ヲ大使館員トシテ商務官ト共同シテ其ノ下ニ事務ニ當ラシムルコト利益多カルヘシト思考セラル

〔〕佛國ニ於テハ通商條約ニ關スル事務カ商工省ノ主管ナル關係上同省ヲ中心トシテ關係省間ニ意見ヲ交換シ貿易事項ヲ裁決ス、新設ノ「コンタンジヤン」委員會（住信公第一八〇號御參照）ハ毎週水曜日ニ各省關係者ノ定期會合ヲ行ヒ居ル趣ニテ之ヲ機會ニ各種ノ關係事務ニ付協議決定ヲ爲シ成績良好ナルカ如シ

〔〕在外貿易機關トシテハ商務官及 agent commercial (商工)、外務、民間ノ代表ヨリ成ル委員會ノ銓衡ヲ經商工大臣ノ決裁ヲ經タル上商務官ハ大統領令ヲ以テ任命セラレ外交官ノ資格ヲ有シ agent commercial ハ商工省令ヲ以テ任命セラレ外交官ノ資格無シ職務ハ全然同一ヲ主トス

本年六月十二日定員商務官二十七 agent commercial 二三本年度豫算人件費千萬法事務費千三百萬法

尙商務官等國內當業者トノ聯絡機關トシテ商工省ノ補助金ヲ受クル半官的機關 office national du commerce extérieur已在ニ在リシカ一月廢止セラレ近ク商工省ノ一局トナル豫定ナリ商務官以外ニ在外機關トシテ佛國品ノ輸出増進ヲ計リ通商上ノ情報ヲ内外ニ供給スルヲ任務トスル office commercial アリ商工大臣ノ指名スル委員ニ依リテ運用セラレ商工省ノ補助金(本年度豫算百十三萬法)ヲ受ク一時其ノ數十三ニ達シタルモ現在數八ニシテ六月末限り全廢セラル筈ナリ

290 昭和9年8月3日 在英國松平大使より
廣田外務大臣宛(電報)
商務官を補佐する副商務官の配属など我が方
通商關係機關拡充方策に⁽¹⁾お意見具申
貴電合第五四八號ニ關シ(通商關係機關擴充ニ關スル件)
(1)本件ニ對シ詳細ナル卑見ハ別ニ公信ヲ以テ申進ス⁽²⁾キモ

291 昭和9年8月3日 後発
本省 8月4日後着
第四三三六號
ロハシテ 8月3日後発
本省 8月4日後着
(2)Department of Commercial Relations and Treaties
(商務省ニ屬シ主トシテ輸出入許可及外國ノ關稅率及
機關(俸給八六事務所費等四)「旅費七計」〔三十七〕通商委
員(計七十五)產業博覽會經費(計一一千)
(3)Department of Industries and Manufactures(商務
商情報通商交渉及領事關係事務ヲ管轄ス)豫算、本省
(俸給一五六旅費雜費「電信」、「九計」一六〇〇)通商外交
機關(俸給八六事務所費等四)「旅費七計」〔三十七〕通商委
員(計七十五)產業博覽會經費(計一一千)
(4)Department of Commercial Relations and Treaties
(商務省ニ屬シ主トシテ輸出入許可及外國ノ關稅率及
手續ノ變更等ニ關スル英國商人ヨリノ陳情等ヲ處理シ
他方條約法制ニ關スル研究及通商條約交渉ニ干與ス)
豫算、俸給二千
(5)Department of Industries and Manufactures(商務
商情報通商交渉及領事關係事務ヲ管轄ス)豫算、本省
(俸給一五六旅費雜費「電信」、「九計」一六〇〇)通商外交
機關(俸給八六事務所費等四)「旅費七計」〔三十七〕通商委
員(計七十五)產業博覽會經費(計一一千)

〔1〕本件ニ對シ詳細ナル卑見ハ別ニ公信ヲ以テ申進ス⁽²⁾キモ

〔2〕Department of Industries and Manufactures(商務
商情報通商交渉及領事關係事務ヲ管轄ス)豫算、本省
(俸給一五六旅費雜費「電信」、「九計」一六〇〇)通商外交
機關(俸給八六事務所費等四)「旅費七計」〔三十七〕通商委
員(計七十五)產業博覽會經費(計一一千)

省ニ屬シ外國製造品ノ英國產業ニ及ホス影響問題ヲ管
掌ス⁽¹⁾豫算、俸給二四

〔1〕Export Credit Guarantee Department(商務省ニ屬シ
局長ハ海外貿易局長ノ兼任トス輸出保障事務ヲ取扱フ)

豫算、俸給一八保障支出一一五其ノ他一四計一五七

〔2〕Statistic Department(商務省ニ屬シ通商經濟統計事
務ヲ擔當ス)豫算、俸給三六、九

右ノ外大藏省⁽¹⁾ Import Duties Advisory Committee

内閣⁽²⁾ Economicalic Advisory Committee 英本國及
屬領⁽³⁾ Imperial Economicalic Committee 等ノ諮詢
機關アリ

委細公信

~~~~~

291 昭和9年9月20日 広田外務大臣より  
在スイス<sup>(4)</sup> 沖(信)臨時代理公使宛

任國政府へ我が方工業所有權保護條約加入通

告方訓令

付記一 八月十六日付條約局第一課作成

「工業所有權條約権府事務局審議經過」

最近通商關係諸問題逐年增加且複雜化シツツアル折柄當  
地商務官ハ政治ヲモ兼任シ手廻り兼ネ居ル實情ナルニ鑑  
ミ商務官ヲ補佐シ事務ヲ統括スル高等官五等級ノ副商務  
官一名増員方至急御詮議ヲ得度シ

〔1〕英國貿易機關ノ組織及豫算左ノ通(豫算ハ一九三四一三  
五年度ノモノニシテ單位千磅トス)

〔2〕Department of Overseas Trade(外務省及商務省ノ外  
局ニシテ對外通商機關中樞ナリ在外商務官及領事官及

英帝國各地ニ駐在スル通商委員ヲ統括シ又外務省ノ通

商情報通商交渉及領事關係事務ヲ管轄ス)豫算、本省  
(俸給一五六旅費雜費「電信」、「九計」一六〇〇)通商外交  
機關(俸給八六事務所費等四)「旅費七計」〔三十七〕通商委  
員(計七十五)產業博覽會經費(計一一千)

〔3〕Department of Commercial Relations and Treaties  
(商務省ニ屬シ主トシテ輸出入許可及外國ノ關稅率及  
手續ノ變更等ニ關スル英國商人ヨリノ陳情等ヲ處理シ  
他方條約法制ニ關スル研究及通商條約交渉ニ干與ス)  
豫算、俸給二千

〔4〕Department of Industries and Manufactures(商務  
商情報通商交渉及領事關係事務ヲ管轄ス)豫算、本省  
(俸給一五六旅費雜費「電信」、「九計」一六〇〇)通商外交  
機關(俸給八六事務所費等四)「旅費七計」〔三十七〕通商委  
員(計七十五)產業博覽會經費(計一一千)

〔5〕Department of Commercial Relations and Treaties  
(商務省ニ屬シ主トシテ輸出入許可及外國ノ關稅率及  
手續ノ變更等ニ關スル英國商人ヨリノ陳情等ヲ處理シ  
他方條約法制ニ關スル研究及通商條約交渉ニ干與ス)  
豫算、俸給二千

〔6〕Department of Industries and Manufactures(商務  
商情報通商交渉及領事關係事務ヲ管轄ス)豫算、本省  
(俸給一五六旅費雜費「電信」、「九計」一六〇〇)通商外交  
機關(俸給八六事務所費等四)「旅費七計」〔三十七〕通商委  
員(計七十五)產業博覽會經費(計一一千)

〔7〕Department of Commercial Relations and Treaties  
(商務省ニ屬シ主トシテ輸出入許可及外國ノ關稅率及  
手續ノ變更等ニ關スル英國商人ヨリノ陳情等ヲ處理シ  
他方條約法制ニ關スル研究及通商條約交渉ニ干與ス)  
豫算、俸給二千

〔8〕Department of Industries and Manufactures(商務  
商情報通商交渉及領事關係事務ヲ管轄ス)豫算、本省  
(俸給一五六旅費雜費「電信」、「九計」一六〇〇)通商外交  
機關(俸給八六事務所費等四)「旅費七計」〔三十七〕通商委  
員(計七十五)產業博覽會經費(計一一千)

〔9〕Department of Commercial Relations and Treaties  
(商務省ニ屬シ主トシテ輸出入許可及外國ノ關稅率及  
手續ノ變更等ニ關スル英國商人ヨリノ陳情等ヲ處理シ  
他方條約法制ニ關スル研究及通商條約交渉ニ干與ス)  
豫算、俸給二千

〔10〕Department of Industries and Manufactures(商務  
商情報通商交渉及領事關係事務ヲ管轄ス)豫算、本省  
(俸給一五六旅費雜費「電信」、「九計」一六〇〇)通商外交  
機關(俸給八六事務所費等四)「旅費七計」〔三十七〕通商委  
員(計七十五)產業博覽會經費(計一一千)

〔11〕Department of Commercial Relations and Treaties  
(商務省ニ屬シ主トシテ輸出入許可及外國ノ關稅率及  
手續ノ變更等ニ關スル英國商人ヨリノ陳情等ヲ處理シ  
他方條約法制ニ關スル研究及通商條約交渉ニ干與ス)  
豫算、俸給二千

〔12〕Department of Industries and Manufactures(商務  
商情報通商交渉及領事關係事務ヲ管轄ス)豫算、本省  
(俸給一五六旅費雜費「電信」、「九計」一六〇〇)通商外交  
機關(俸給八六事務所費等四)「旅費七計」〔三十七〕通商委  
員(計七十五)產業博覽會經費(計一一千)

〔13〕Department of Commercial Relations and Treaties  
(商務省ニ屬シ主トシテ輸出入許可及外國ノ關稅率及  
手續ノ變更等ニ關スル英國商人ヨリノ陳情等ヲ處理シ  
他方條約法制ニ關スル研究及通商條約交渉ニ干與ス)  
豫算、俸給二千

〔14〕Department of Industries and Manufactures(商務  
商情報通商交渉及領事關係事務ヲ管轄ス)豫算、本省  
(俸給一五六旅費雜費「電信」、「九計」一六〇〇)通商外交  
機關(俸給八六事務所費等四)「旅費七計」〔三十七〕通商委  
員(計七十五)產業博覽會經費(計一一千)

〔15〕Department of Commercial Relations and Treaties  
(商務省ニ屬シ主トシテ輸出入許可及外國ノ關稅率及  
手續ノ變更等ニ關スル英國商人ヨリノ陳情等ヲ處理シ  
他方條約法制ニ關スル研究及通商條約交渉ニ干與ス)  
豫算、俸給二千

〔16〕Department of Industries and Manufactures(商務  
商情報通商交渉及領事關係事務ヲ管轄ス)豫算、本省  
(俸給一五六旅費雜費「電信」、「九計」一六〇〇)通商外交  
機關(俸給八六事務所費等四)「旅費七計」〔三十七〕通商委  
員(計七十五)產業博覽會經費(計一一千)

〔17〕Department of Commercial Relations and Treaties  
(商務省ニ屬シ主トシテ輸出入許可及外國ノ關稅率及  
手續ノ變更等ニ關スル英國商人ヨリノ陳情等ヲ處理シ  
他方條約法制ニ關スル研究及通商條約交渉ニ干與ス)  
豫算、俸給二千

〔18〕Department of Industries and Manufactures(商務  
商情報通商交渉及領事關係事務ヲ管轄ス)豫算、本省  
(俸給一五六旅費雜費「電信」、「九計」一六〇〇)通商外交  
機關(俸給八六事務所費等四)「旅費七計」〔三十七〕通商委  
員(計七十五)產業博覽會經費(計一一千)

〔19〕Department of Commercial Relations and Treaties  
(商務省ニ屬シ主トシテ輸出入許可及外國ノ關稅率及  
手續ノ變更等ニ關スル英國商人ヨリノ陳情等ヲ處理シ  
他方條約法制ニ關スル研究及通商條約交渉ニ干與ス)  
豫算、俸給二千

〔20〕Department of Industries and Manufactures(商務  
商情報通商交渉及領事關係事務ヲ管轄ス)豫算、本省  
(俸給一五六旅費雜費「電信」、「九計」一六〇〇)通商外交  
機關(俸給八六事務所費等四)「旅費七計」〔三十七〕通商委  
員(計七十五)產業博覽會經費(計一一千)

〔21〕Department of Commercial Relations and Treaties  
(商務省ニ屬シ主トシテ輸出入許可及外國ノ關稅率及  
手續ノ變更等ニ關スル英國商人ヨリノ陳情等ヲ處理シ  
他方條約法制ニ關スル研究及通商條約交渉ニ干與ス)  
豫算、俸給二千

〔22〕Department of Industries and Manufactures(商務  
商情報通商交渉及領事關係事務ヲ管轄ス)豫算、本省  
(俸給一五六旅費雜費「電信」、「九計」一六〇〇)通商外交  
機關(俸給八六事務所費等四)「旅費七計」〔三十七〕通商委  
員(計七十五)產業博覽會經費(計一一千)

〔23〕Department of Commercial Relations and Treaties  
(商務省ニ屬シ主トシテ輸出入許可及外國ノ關稅率及  
手續ノ變更等ニ關スル英國商人ヨリノ陳情等ヲ處理シ  
他方條約法制ニ關スル研究及通商條約交渉ニ干與ス)  
豫算、俸給二千

〔24〕Department of Commercial Relations and Treaties  
(商務省ニ屬シ主トシテ輸出入許可及外國ノ關稅率及  
手續ノ變更等ニ關スル英國商人ヨリノ陳情等ヲ處理シ  
他方條約法制ニ關スル研究及通商條約交渉ニ干與ス)  
豫算、俸給二千

〔25〕Department of Commercial Relations and Treaties  
(商務省ニ屬シ主トシテ輸出入許可及外國ノ關稅率及  
手續ノ變更等ニ關スル英國商人ヨリノ陳情等ヲ處理シ  
他方條約法制ニ關スル研究及通商條約交渉ニ干與ス)  
豫算、俸給二千

〔26〕Department of Commercial Relations and Treaties  
(商務省ニ屬シ主トシテ輸出入許可及外國ノ關稅率及  
手續ノ變更等ニ關スル英國商人ヨリノ陳情等ヲ處理シ  
他方條約法制ニ關スル研究及通商條約交渉ニ干與ス)  
豫算、俸給二千

〔27〕Department of Commercial Relations and Treaties  
(商務省ニ屬シ主トシテ輸出入許可及外國ノ關稅率及  
手續ノ變更等ニ關スル英國商人ヨリノ陳情等ヲ處理シ  
他方條約法制ニ關スル研究及通商條約交渉ニ干與ス)  
豫算、俸給二千

〔28〕Department of Commercial Relations and Treaties  
(商務省ニ屬シ主トシテ輸出入許可及外國ノ關稅率及  
手續ノ變更等ニ關スル英國商人ヨリノ陳情等ヲ處理シ  
他方條約法制ニ關スル研究及通商條約交渉ニ干與ス)  
豫算、俸給二千

〔29〕Department of Commercial Relations and Treaties  
(商務省ニ屬シ主トシテ輸出入許可及外國ノ關稅率及  
手續ノ變更等ニ關スル英國商人ヨリノ陳情等ヲ處理シ  
他方條約法制ニ關スル研究及通商條約交渉ニ干與ス)  
豫算、俸給二千

〔30〕Department of Commercial Relations and Treaties  
(商務省ニ屬シ主トシテ輸出入許可及外國ノ關稅率及  
手續ノ變更等ニ關スル英國商人ヨリノ陳情等ヲ處理シ  
他方條約法制ニ關スル研究及通商條約交渉ニ干與ス)  
豫算、俸給二千

〔31〕Department of Commercial Relations and Treaties  
(商務省ニ屬シ主トシテ輸出入許可及外國ノ關稅率及  
手續ノ變更等ニ關スル英國商人ヨリノ陳情等ヲ處理シ  
他方條約法制ニ關スル研究及通商條約交渉ニ干與ス)  
豫算、俸給二千

〔32〕Department of Commercial Relations and Treaties  
(商務省ニ屬シ主トシテ輸出入許可及外國ノ關稅率及  
手續ノ變更等ニ關スル英國商人ヨリノ陳情等ヲ處理シ  
他方條約法制ニ關スル研究及通商條約交渉ニ干與ス)  
豫算、俸給二千

〔33〕Department of Commercial Relations and Treaties  
(商務省ニ屬シ主トシテ輸出入許可及外國ノ關稅率及  
手續ノ變更等ニ關スル英國商人ヨリノ陳情等ヲ處理シ  
他方條約法制ニ關スル研究及通商條約交渉ニ干與ス)  
豫算、俸給二千

〔34〕Department of Commercial Relations and Treaties  
(商務省ニ屬シ主トシテ輸出入許可及外國ノ關稅率及  
手續ノ變更等ニ關スル英國商人ヨリノ陳情等ヲ處理シ  
他方條約法制ニ關スル研究及通商條約交渉ニ干與ス)  
豫算、俸給二千

〔35〕Department of Commercial Relations and Treaties  
(商務省ニ屬シ主トシテ輸出入許可及外國ノ關稅率及  
手續ノ變更等ニ關スル英國商人ヨリノ陳情等ヲ處理シ  
他方條約法制ニ關スル研究及通商條約交渉ニ干與ス)  
豫算、俸給二千

〔36〕Department of Commercial Relations and Treaties  
(商務省ニ屬シ主トシテ輸出入許可及外國ノ關稅率及  
手續ノ變更等ニ關スル英國商人ヨリノ陳情等ヲ處理シ  
他方條約法制ニ關スル研究及通商條約交渉ニ干與ス)  
豫算、俸給二千

〔37〕Department of Commercial Relations and Treaties  
(商務省ニ屬シ主トシテ輸出入許可及外國ノ關稅率及  
手續ノ變更等ニ關スル英國商人ヨリノ陳情等ヲ處理シ  
他方條約法制ニ關スル研究及通商條約交渉ニ干與ス)  
豫算、俸給二千

〔38〕Department of Commercial Relations and Treaties  
(商務省ニ屬シ主トシテ輸出入許可及外國ノ關稅率及  
手續ノ變更等ニ關スル英國商人ヨリノ陳情等ヲ處理シ  
他方條約法制ニ關スル研究及通商條約交渉ニ干與ス)  
豫算、俸給二千

〔39〕Department of Commercial Relations and Treaties  
(商務省ニ屬シ主トシテ輸出入許可及外國ノ關稅率及  
手續ノ變更等ニ關スル英國商人ヨリノ陳情等ヲ處理シ  
他方條約法制ニ關スル研究及通商條約交渉ニ干與ス)  
豫算、俸給二千

〔40〕Department of Commercial Relations and Treaties  
(商務省ニ屬シ主トシテ輸出入許可及外國ノ關稅率及  
手續ノ變更等ニ關スル英國商人ヨリノ陳情等ヲ處理シ  
他方條約法制ニ關スル研究及通商條約交渉ニ干與ス)  
豫算、俸給二千

報ヲ俟チ別紙加入通告文ヲ責任國政府ニ通達セラレ度ク右  
通達ヲ了セラレタル上ハ通告文ノ日附、貴官ノ署名綴り、  
先方宛名正確ニ電報アリタシ

尙加入通告文(一部添附)ノ外爲念條約原文及譯文各一部併  
セテ茲ニ送付ス

**編注** 九月二十九日付岡田内閣総理大臣より広田外務大臣  
宛公信内閣外甲第五〇号により、本件裁可が通達さ  
れた。

(付記一)

(昭和九年八月十六日)

工業所有權條約樞府事務局審議經過

條約一課

「ヘーグ」改正工業所有權保護條約樞密院事  
務局下審查經過要領

昭和九年七月十二日外務大臣發總理大臣宛「ヘーグ」改正  
工業所有權保護條約加入方御裁可奏請シタルガ本件ハ七月  
十一日(月)十八日(水)二十日(金)二十三日(月)ノ四回ニ亘

審議終了ニ當り書記官長ハ本會議ハ暑中明ケトナルヘキ旨  
ヲ告ケ本會議前ニ於テ本件ノ爲ニ特ニ審查委員會ヲ開クヤ  
否ヤニ付明言スルコトナカリキ八月四日印通商條約審議  
ノ序ヲ以テ書記官長ハ小林條約一課長ニ審查委員會ヲ開カ  
ザル旨傳ヘタルガ更ニ八月十四日審查委員會ヲ開クコトニ  
改メタル旨電話ヲ以テ同課長ニ通告セリ右通告ニ當り審查  
審議ヲ終了セリ

委員會ヲ開クコトハ特ニ政府ニ對スル好意ニ基クモノナル

コトヲ附言セリ蓋シ審查委員會ヲ開ク主タル理由ハ條約批  
准遲延ノ理由ヲ聽クニ在ルカ如ク且ツ委員長ノ報告トセバ

御前會議ニ於テ他ノ顧問官連ノ質問ナカルヘク隨テ本件ノ  
通過容易ナルヘシト思考セシニ依ルモノナルヘシ又委員會  
ニ付セハ書記官長ノ責任輕減セラルヘキコトハ勿論ナリト  
ス

下審查ニ參加セシ者左ノ如シ

樞府側 村上書記官長 堀江武藤兩書記官  
政府側 (外務省)栗山條約局長 小林條一課長

松本條一課長 工藤事務官  
松平事務官  
(特許局)中松長官 安達調査課長  
(商工省)村瀬商務局長  
商務局商政課石田事務官  
(司法省)民事局堀内書記官  
(拓務省)殖產局商工課本事務官

(昭和九年八月十六日工藤識)

リ樞密院事務局ニ於テ村上書記官長主査ノ下ニ條約及加入  
通告案ノ下審查ヲ了セリ

七月十一日ノ審查開始ニ當リ栗山條約局長ハ別紙ノ如ク條

約ノ沿革殊ニ「ヘーグ」改正條約成立ノ經過、今回本條約  
加入方ヲ奏請スルニ至リタル理由ヲ述へ村瀬商務局長ハ本  
條約批准遲延ノ理由ヲ縷々説明シ次テ中松特許局長官ハ改  
正セラレタル條文ニ付簡單ナル大体的説明ヲ加フルコトア  
リタリ次デ條約ノ逐條審議ニ入りタルガ條文ノ内容ニ付テ  
ハ何等ノ支障ナク又新條文ニ基キ今回公布セラレタル不正  
競争防止法及商標法中改正法律モ逐條審議ヲ受ケタルカ何  
レモ條約ニ適合スルモノト認メラレタルヲ以テ本件條約加  
入ニ付條約文ニ於テ妨げトナルヘキ事項ナキコト明トナリ  
審議ヲ終了セリ

審議終了ニ當り書記官長ハ本會議ハ暑中明ケトナルヘキ旨  
ヲ告ケ本會議前ニ於テ本件ノ爲ニ特ニ審查委員會ヲ開クヤ  
否ヤニ付明言スルコトナカリキ八月四日印通商條約審議  
ノ序ヲ以テ書記官長ハ小林條約一課長ニ審查委員會ヲ開カ  
ザル旨傳ヘタルガ更ニ八月十四日審查委員會ヲ開クコトニ  
改メタル旨電話ヲ以テ同課長ニ通告セリ右通告ニ當り審查  
審議ヲ終了セリ

工業所有權保護同盟條約ハ明治十六年(一八八三年)「パリ」  
ニ於テ初メテ成立シタルモノデアリマスガ其ノ後明治三十  
三年(一九〇〇年)「ブラツセル」ニ於テ又明治四十四年  
(一九一一年)「ワシントン」ニ於テ改正セラレマシテ今回  
ノ「ヘーグ」條約ニ及シダノデアリマス。同盟條約第十四  
條ニ依リマスレバ同盟ノ制度ヲ完全ナラシムル爲時々條約  
改正會議ヲ開催スベキコトト爲ツテ居リマス。

右規定ニ基キマシテ前回ノ「ワシントン」會議後約十年ノ  
後「ヘーグ」ニ於テ改正會議カ開カルルコトトナツテ居タ  
ノデアリマスガ其ノ間世界大戰ガアリマシテ一九二三年又  
ハ二三年ニ開催ノ運ニ至ラナカツタノデアリマス。然ルニ  
其ノ後準備モ整ヒマシタノデ和蘭國政府ハ各國ニ會議參加  
ノ招請狀ヲ發シ併セテ同國政府ガ工業所有權國際事務局ノ

協力ヲ得テ作成シタル一ノ改正條約案ヲ各國ニ送付シテ會議ノ議題ト爲シタノデアリマス。會議ハ大正十四年（一九二五年）十月八日ヨリ十一月六日ニ至ル迄開カレタノデアリマス。

會議開催前國際聯盟ハ規約第二十三條ニ基ク通商衡平待遇確保ノ爲諸種ノ問題ヲ研究シツツアツタノデアリマスガ大正十三年（一九二四年）五月「ジュネーブ」ニ於テ一ノ専門委員會ヲ開催シ不正競争防止ニ關スル有用ナル報告ヲ作成致シマシタ。又他方在「パリ」國際商業會議所モ戰後ニ於ケル工業所有權保護ノ爲有用ナル諸種ノ資料ヲ蒐集シ之ヲ會議ニ提出シタノデアリマス。今回ノ「ヘーグ」會議ニ於キマシテハ此等ノ報告及資料ヲ充分審議シテ條約ノ改正ニ多大ノ便益ヲ受クル所ガアツタノデアリマス。

我國ハ大正十四年（一九二五年）一月十五日和蘭國政府ヨリ會議參加ノ招請ヲ受ケ特許局長官崎川才四郎及大使館一等書記官伊藤述史ヲ代表トシテ會議ニ派遣シ同會議ノ作成セル條約ニ署名セシメマシタ。

處ガ此ノ條約ノ批准ノ爲ニハ本邦ニ於キマシテハ第六條ノ三ノ外國紋章ノ保護、第十條及第十條ノ二ノ不正競争防止

ニ付キマシテ法律制定ノ要ガアツタノデアリマスガ其ノ内支那ノ「ボイコット」トカ當業者ノ反対トカ立法技術上ノ困難ナドアリマシテ制定實現不可能ノ有様デアリマシタ。從テ本條約ハ所定ノ期間タル昭和三年五月一日迄ニ批准奏請ノ手續ヲ執ルコトガ出來ナカツタ次第デアリマス。

然ルニ今回第六十五議會ニ於キマシテ不正競争防止法案及商標法中改正法律案可決セラレ、本年三月二十六日ノ官報ヲ以テ法律第十四號及第十五號トシテ夫々公布セラレタノデアリマスガ又此等ノ法律ヲ本邦、朝鮮、臺灣、樺太ニ適用方差支ナキニ至リマシタノデ茲ニ加入手續御裁可方ヲ奏請シタ次第デアリマス。

尙爲念茲ニ追加ベテ申上ゲマスガ此ノ工業所有權條約ハ本年六月「ロンドン」ニ於テ改正セラレ我國モ之ニ署名シテ居リマスノデ新條約ヲ批准シサヘスレバ宜敷ク今更此ノ同條約ニ加入スル必要ハナイトイフ議論ノアルノハ一應尤モノ次第デアリマスガ我國ガ此ノ條約ニ加入スルノ必要ハ凡ソ左ノ二ツノ理由ニ基クモノト思考致シマス

- (一) 我國ガ不正競争國ナリトノ流說ノ除去  
(二) 「ロンドン」條約ノ實施期日ノ不明

近來我國ノ輸出貿易ノ世界的進出ニ伴ヒ或ハ「ソーシアル、ダンピング」國トカ不正競争國ナリトシテ我國ヲ誹謗スルノ說ガ各國ニ根強ク流布セラレテ居リマスノデ不正競争防止法ガ出來上リマシタル今日成ルベク速ニ本條約ニ加入シテ其ノ然ラザル所以ヲ納得セシメヨウトスルノデアリマス又「ロンドン」條約ハ實施期日ヲ一九三八年八月一日ト豫定シテ居リマスガ夫レ迄ニ批准國ノ數ガ六個ニナラナケレバ更ニ實施期日ガ延期セラレマスノデ先程申上げマシタ目的ノ達成ニハ間ニ合ハナイノデアリマス

大体以上ノ様ナ次第デアリマスカラ宜敷ク御審議ノ程オ願ヒ致シマス

#### （付記二）

##### 不正競争防止法制定ニ關スル件

一九二五年十一月六日「ヘーグ」ニ於テ署名セラレタル工業所有權保護ニ關スル同盟條約ノ御批准問題ニ關聯シ不正競争防止法制定ノ問題アリ

一、本問題ニ關シテハ曩ニ昭和四年六月二十一日在本邦英國大使ヨリ來照アリタル以來本件立法ノ進捗狀況ニ關シ同

大使館ト外務省トノ間ニ數次照覆ノ次第アリ、外務省トシテハ商工省當局ニ照會ノ上毎回審議未了、手續未完結等ノ理由ヲ掲ゲテ不正競争防止法ノ未制定ナル旨ヲ回答シ來リ最後ニ昭和八年六月八日附ヲ以テ英國大使館ニ對シ更メテ不正競争防止法ハ諸種ノ事情ニ依リ審議未了ニシテ發布ノ運ビニ至ラザル旨回答セリ

右ノ如ク本件ハ其ノ對外關係ノミヨリ之ヲ見ルモ既ニ四ヶ年半ヲ經過シ居リ此ノ上荏苒、審議未了ナル理由ヲ以テ本邦ノ態度ヲ曖昧トシ置クハ表面上形式ノ問題トシテモ面白カラザルベシ。

二、次ニ實質的ニ之ヲ見ルニ、本件立法ノ障碍トモ云フベキハ不正競争防止法制定ノ結果、我ガ對外貿易ニ重大ナル惡影響ヲ及ボスコトナキヤノ懸念ナルベシ、殊ニ我ガ對支貿易ガ爲メニ巨額ノ減少ヲ來スベシトノ危惧ナルベシ。然ル處我ガ對支貿易中、不正競争ニ依ル輸出額ガ統計上算出セラレ得ザル限り不正競争ヲ防止スルコトニ依リ減少スベシト懸念セラルル輸出額ヲ提示スルコト固ヨリ至難ナルモ、其ノ額タルヤ蓋シ恐ルルニ足ラザルモノト推測セラルルノミナラズ不正競争ニ依リ販路ノ維持擴張ヲ

圖ラントスルガ如キハ今ヤ正ニ時運ニ逆行スルモノト謂フベシ。日本品ノ品質優秀ニシテ價格低廉ナルハ今ヤ世界公知ノ事實ナリ(產業ノ合理化、技術ノ進歩ノ結果)日品ハ既ニ日本品トシテ世界ニ其ノ聲價ヲ知ラレ正々堂々ノ競争場裏ニ必勝ノ實力アリ。何ヲ苦シンデ外國商標ヲ借用シ原產地ヲ詐稱スル等ノ不正ナル手段ニ訴フルノ要アランヤ。

三、更ニ進ンデ從來機會アル毎ニ反復提唱シ來リタル如ク、世界各國ハ今ヤ日本品防遏ノ爲メ共同戰線ヲ張ラントシツツアルノ形勢觀取セラル。客秋以來ノ英佛兩國議會ニ於ケル討議ノ經緯、最近全佛國商工會議所會頭會議ガ日本品防遏ノ爲メ各國ハ共同戰線ヲ張ラザル可ラズト決議シタル事實等ヨリ見テ右共同戰線作成ノ暗流ハ容易ニ窺知セラルル次第ニシテ、彼等ガ日本品ヲ攻擊スル理由ハ常ニ爲替下落、労働條件不備、生活程度低級等其ノ揆ヲニシ居ルモ、本邦ガ工業所有權保護同盟條約ニ署名シ乍ラ今ニ至ルモ之ヲ批准セズ、不正競爭防止法ヲ制定シ居ラザルコトハ常ニ彼等ニトリ有力ナル日本攻擊ノ武器トナリ來レリ。故ニ本邦側ニ於テ不正競爭防止法ヲ制定

フルモノナルコト  
4、形勢ハ今ヤ逆轉シテ邦品ガ摸造セラレ(借)セラレ來ルコト

等ノ理由ヨリシテ此ノ際速カニ本邦不正競爭防止法ヲ制定シテ悔ヲ後日ニ遺サザランコトヲ期スルコト希望ニ堪エザル次第ナリ。



292 昭和9年10月5日

廣田外務大臣より  
在英國松平大使他宛

#### 我が方包括的通商政策につき訓令

通一機密合第一四三二號

昭和九年十月五日

外務大臣 廣田 弘毅

#### 本邦通商政策ニ關スル件

本邦輸出貿易ハ幸ニシテ最近モ引續キ進展ノ趨勢ヲ辿リツツアルモ他方諸外國ノ本邦品ニ對スル防遏的措置ハ益々激化セントシツツアリ既ニ從來ノ統計ニ依ルモ本邦品ニ對スル防遏的措置ノ嚴重ナル國ニ對スル輸出ハ進展著シカラス或ル國ニ對シテハ減少ヲ示シ居ル次第ニシテ今日ノ如キラス

スルコトハ無形ノ汚名ヲ雪グト同時ニ諸外國ノ武器ノ一ヲ奪フ結果トナル次第ナリ。

四、終リニ注意ヲ要スルハ今ヤ不正競爭ニ關シテハ形勢逆轉シ主客顛倒セントスル傾向漸次濃厚トナリ來レルコト是ナリ。即チ從來ハ本邦側ニ於テ外國商標等ヲ借用シ原產地ヲ詐稱シテ不正ノ競争ヲ爲シ來レリトノ非難ヲ蒙リ居タルモ邦品ガ世界市場ヲ征服セントスル今日ニ於テハ動モスレバ諸外國ニ於テ日本品ヲ摸造(借)セントスルニ至レリ。陶磁器、罐詰類ニ於テ其ノ然ルヲ見ル。即チ今ヤ主客ノ地位ハ全ク顛倒シテ不正競爭ヲ防止スルノ必要ト利益トハ本邦側ニトリ曰ニ重要性ヲ加フルコトトナレリ今ニシテ進ンデ不正競爭防止法ヲ制定シ以テ他國ヲシテ邦品ニ對シテ不正競爭ヲ爲シ得ザラシメズンバ百年ノ恨ヲ遺スコトトナルベシ。

#### 五、之ヲ要スルニ不正競爭問題ハ

- 1、對外關係ニ於テモ既ニ數年來ノ懸案ナルコト
- 2、不正競爭ハ自ラ邦品ノ聲價ヲ傷クル時代錯誤ノ行爲ナルコト
- 3、邦品防遏ニ關スル各國共同戰線ニ有力ナル口實ヲ與ナルコト

通商經濟ノ問題ヨリ延テ國交ヲ險惡ナラシムルカ如キコトハ出來得ル限り之ヲ避ケ共存共榮ノ大義ニ則り出來得ル關係國又ハ關係國當業者團体トノ商議ニ依リ圓滿ナル妥結ヲ計ルコトヲ根本方針ト致シ度キ考ナリ。現ニ英國向電球(別紙第一號)、米國向鉛筆、「ラグ」(別紙第三號及第四號)佛國向磁器及鮑鱈罐詰(別紙第五號及第六號)蘭印向セメント(別紙第七號)ニ關シ別紙附屬書ノ如キ取極ヲ爲シタル例アリ此ノ種取極ハ我方輸出ヲ制限スルモノナルニ付元ヨリ我方ヨリ進ンテ締スヘキモノニハ非サルモ相手國ニ於テ輸入制限措置ヲ採用セントスル氣運濃厚ナル場合事前我方ヨリ協調的精神ヲ以テ折衝スルニ於テハ相手國トシテモ好シテ我方ノ神經ヲ刺戟スヘキ措置ヲ執ラントスルモノニハ非サルヘキニ付或程度迄ハ我方ノ立場ニモ考慮ヲ拂フコトトナルヘク圓滿ナル妥結ニ到達セシメ事態ノ悪化ヲ避ケ乍ラ本邦輸出貿易ノ利益ヲ確保シ得ルコトトナル場合少カラサルヘシト思考セラル

但シ此種ノ取極ニ付テハ若シ之ヲ正式ニ政府間ノ取極ト爲ストキハ其ノ締結又ハ實施ノ爲國內法上必要ナル手續

セラル  
尙日印通商問題ニ關シ本年一月五日大綱ノ妥結ヲ見ルヤ條約ノ正式調印ニ先立チ各自一方的措置トシテ印度側ニ於テハ我カ綿布ニ對スル關稅ヲ引下ケ我方ニ於テハ對印綿布ノ輸出統制ヲ實施シタルガ右ノ如キ方法モ今後事態ノ如何ニ依リ實行スルノ必要アルヘシト思考セラル

## (2) 無競爭品ノ輸出

本邦產品ノ全般的進出ハ最モ希望スル所ナルモ相手國產業(植民地ニ付テハ其ノ本國產業ヲ含ム)ト競争關係ニ立ツ品目ノ進出ハ相手國ノ防遏手段採用ヲ挑發シ結局ニ於テ我方ニ取り不利益ナル事態ヲ惹起スル虞大ナルニ付相手國產業及需給狀態ヲ調查シ相手國產業ト競争關係ニ立タスシテ進出ノ見込アル品目ヲ選ヒ同品ノ輸出増進ニ特ニ盡力スルコト致シ度キ考ナリ。各地市場トモ此種商品少カラサルヘキコト思考セラルニ付右ニ關シ品名市場ノ嗜好、將來ニ於ケル見込、第三國トノ競争關係、關稅率、輸入制限措置ノ有無、取引方法等隨時委曲御查報相成度シ

## (3) 輸入品ノ分散ニ依ル輸出増進

貿易均衡主義ハ經濟上ノ原則ヨリ見ルモ本邦貿易ノ實情ヨリ見ルモ好マシカラサルモノナリ然レ共現實ノ問題トシテハ世界各國ハ通商上ノ根本方針トシテ之ヲ採用シ我方カ輸出超過ノ狀態ニアル諸國ニ於テハ貿易ノ不均衡ヲ理由トシテ本邦品ノ輸入ヲ制限セントスル傾向甚強シ從テ我方トシテモ之ヲ無視スルコト能ハス

ヲ執ルヲ要シ勢ヒ事態ノ推移ニ應シ機宜ノ措置ヲ執リ得サルノ虞アルニ付出來得ル限り之ヲ彼我當業者間ノ取極又ハ先方當局ト本邦當業者間ノ取極ト致度我カ在外公館ノ參與ヲ必要トスル場合ニ於テモ右取極締結ノ仲介者又ハ立會人トシテ行動スルコトトシ表面ニ起ツコトハ成ル可ク之ヲ避ケ(表面上我カ在外公館カ參與シタル場合ニハ單ニ取極ノ内容ヲ關係アル向ヘ内示スル程度ニ止メ一般的公表ハ差控フルコト致度シ)事實上彼我政府當局諒解ノ上成立セルモノニテモ先方ヲシテ双方妥結ノ内容ヲ「テーク・ノート」スルトカ又ハ先方ノ一方的法令ノ發動トシ我方ハ之ヲ默認スルコトスルカ如キ方法ニ依ルコトト致度キニ付右御含ミノ上向後具體問題發生ノ際ハ適宜措置セラルル様致度シ  
尙日印通商問題ニ關シ本年一月五日大綱ノ妥結ヲ見ルヤ條約ノ正式調印ニ先立チ各自一方的措置トシテ印度側ニ於テハ我カ綿布ニ對スル關稅ヲ引下ケ我方ニ於テハ對印綿布ノ輸出統制ヲ實施シタルガ右ノ如キ方法モ今後事態ノ如何ニ依リ實行スルノ必要アルヘシト思考セラル

(欄外記入)

ヲ招來セサル場合又ハ原料輸入ノ點ノミヨリ見ルトキハ多少ノ不利不便アルモ之ニ依リ輸出カ増進セラレ右輸出ニ依リ得ラル利益カ輸入ノ損失ヲ補ヒテ餘リアルカ如キ場合モ少カラサルカ如シ。就テハ本邦カ輸出超過國トナリ居リ且ツ先方ニ於テ本邦品ニ對シ壓迫ヲ加ヘントスルノ形勢アル國ニ付テハ同國ヨリ本邦ニ對シ供給シ得ル適當ナル產品ナキヤ調査研究ノ上何分ノ御意見御稟申相成度尤モ我方ニ取りテハ貿易均衡主義ノ採用カ不利益ナル場合少カラス其ノ實行ニモ幾多ノ困難アル次第ナルニ付形勢急迫セサルニモ拘ハラス我方ヨリ積極的ニ働くケ先方ヲシテ之ニ乘セシムルカ如キコトナキ様注意スルコト必要ナルハ勿論ナリ

## (4)輸出統制

本邦當業者ノ統制ナキ輸出ハ粗製濫賣ノ弊ニ陥リ易ク又右ノ如キ事態ニ至ラサル迄モ相手國市場ヲ攢亂シ或ハ本邦品輸入業者ヲシテ安ンシテ本邦品ヲ取扱フコトヲ得サルニ至ラシメ或ハ本邦品ニ對スル輸入防遏手段ヲ挑發スル等ノコトアリ如斯ハ本邦商品ノ健實ナル輸出進展ヲ計ルノ途ニ非サルヲ以テ商品ノ性質、相手國ノ產業、市場

ノ状況等ヲ調査研究シ必要ニ應シ輸出統制ヲ實施スル様勸奨シ居レリ右ハ外國ノ本邦品ニ對スル防遏手段ノ豫防、緩和乃至除去ノ爲最モ適切ナル方策ナルコト少カラサルニ付將來モ情勢ニ應シ之ヲ實行スル考ナリ、之カ爲本年輸出組合法ヲ改正シタルコトハ既ニ申進置タル通ナルカ今般右改正ヲ加ヘタル輸出組合法全文ノ英譯ヲ作成シタ輸出組合ノ結成容易トナリ居ル様觀測セラル

(參照)ルニ付御参考ノ爲添付セリ(別紙第八號参照)

現在輸出組合ハ其ノ數六十五、組合全員數約五千七百、總出資額約二百八十萬圓、拂込済約百三十萬圓ニ達シ居ル處最近各方面ノ認識増進シツツアルニ付從來ニ比較シ輸出組合ノ結成容易トナリ居ル様觀測セラル

尙諸外國ニハ本邦輸出組合ヲ誤解シ政府ヨリ補助金ヲ得テ設立セラレタル「ダンピング」助長ノ機關ノ如ク考ヘ居ル者モアル模様ナル處本邦輸出組合ハ全然右ノ如キ性質ノモノニ非ス輸出數量ノ統制、輸出價格ノ統制、輸出品ノ検査等ヲ實施スルモノニシテ外國側ノ困難ヲ少カラシメ圓滿ナル經濟的協力ヲ助長セシメントスルモノナルコトハ御承知ノ通ニシテ政府ノ補助金ト云フモ昭和九年度豫算ニ於テ金十萬圓ニ過キス而カモ右ハ輸出組合ノ統

制ヲ破ラントスルモノニ對スル取締、監督等ノ施設ヲ補助スル爲使用セラルモノニシテ「ダンピング」ノ如キ目的ニ充當セラルモノニ非ス二十億圓ニ近キ本邦輸出品ノ「ダンピング」助長ヲ目的トスルモノトシテハ僅ニ十萬圓ノ金額ヲ以テシテハ如何トモ爲シ難キコトハ常識ニ依ルモ明ニ判斷セラル所ナリ海外ニハ右ニ關シ誤解ヲ有スル向モアル様觀測セラルニ付必要ニ應シ關係方面ニ御説示相成ル等適宜御配慮アリ度

尙又本邦品ニ對スル批難乃至輸入防遏手段ノ激化ハ在外本邦當業者間ニ充分ノ連絡統制ナク相互ニ競争關係ニ立チ賣崩シヲ爲ス等ノコトニ基因スル場合モアルヤニ思考セラルニ付此ノ點ニ付テモ考慮ヲ拂ヒ適宜指導シ調整ヲ爲ス様御配慮相成度ク本省ニ於テモ在外公館ト協力シ其ノ對策ヲ講スル様致度ニ付右ニ關シ實情御取調御意見ト共ニ御回報相成度シ

## (5)新市場ノ開拓

最近ニ於ケル本邦輸出貿易ノ進展ハ所謂新市場(近東、阿弗利加、中南米)ニ對スル本邦品輸出ノ躍進ニ負フ所頗ル大ナルモノアルカ此等新市場ニ對シテハ本邦官民ノ

知識未タ不充分ナルモノアリ他方相手國ニ於テモ本邦品ニ對シ充分ノ認識ヲ有シ居ラス本邦官民カ一層ノ努力ヲ拂ヒ此等市場ノ狀態ヲ調査研究シ本邦商品ノ紹介、商取引ノ斡旋等ニ努ムルニ於テハ將來一層ノ發展ヲ期待シ得ヘシ就テハ右ニ關シ此上トモ一層ノ御努力相成度シ

## (6)通商擁護法

本邦品ニ對シ不當ナル壓迫手段ヲ加ヘントスル諸外國ノ反省ヲ促ス目的ヲ以テ通商擁護法ヲ制定シタルコトハ御承知ノ通ナリ同法ハ今日迄之ヲ發動セシメタルコトナキモ將來情勢ノ如何ニ依リテハ之ヲ發動セシムル考ナリ尤モ前記ノ通本邦トシテハ成ルヘク諸外國ト協調シ圓滿ナル妥結ヲ計リ以テ本邦輸出貿易ノ維持増進ヲ計リ度キ考ナリ

尙通商擁護法ニ依レハ輸入稅ノ減免ヲモ爲シ得ル次第ナルヲ以テ之ニ依リ互惠的取極ノ實施ヲ考慮スルカ如キコトモアリ得ヘン

## (7)對外國輿論ノ善導

本邦産業ニ對スル諸外國ノ認識ハ漸次是正セラレツツアル模様ナルモ今日ニ於テモ本邦品ニ對シ「ソシアル、ダ

ンピング」、不正競争ノ非難ヲ加ヘ本邦品ノ輸入ニ對スル防遏運動ヲ爲シ居ルモノ少カラス我方ニ於テ適當ナル對策ヲ講セサルニ於テハ外國ノ大衆ハ右ノ如キ言論ニ動カサレ本邦品防遏ノ勢ハ一層激化ヲ加フルニ至ルヘシ。仍テ本邦トシテハ既ニ活動寫眞ノ作成、冊子ノ刊行、外國新聞社ニ對スル情報ノ供給等種々ノ方法ニ依リ惡宣傳ニ對抗シ居ル次第ナルカ各在外公館ニ於テモ將來一層外國輿論善導方ニ努力スルコト致度シ本項ニ關シ何等御心付ノ點ハ隨時御申越相成度シ

前裏ニ八月十五日附通一機密合第一一九九號ヲ以テ「日貨進出ノ秘鑑」ヲ及送付置キタルカ目下活動寫眞作成

中ナリ右活動寫眞ノ内容ハ大体左記ノ如シ

「Industrial Life in Japan

- 第一卷 編(織ヨリ綱糸迄ノ工程、女工ノ踊) 機關車修理(五日間修理完了ノ模様)
- 第二卷 紡績(紡績工程、女工ノ踊)
- 第三卷 女工ノ寄宿生活(運動、家事、裁縫、音樂、其他) 以上

(8) 我通商機關ノ擴充

左記附屬書相添ヘ右申進ス

附(省略)屬書

- 第一號 調書「本邦物價ノ騰貴及諸外國ノ貨幣下落」
- 第一號 英國向電球ニ關スル取極
- 第三號 米國向鉛筆ニ關スル取極(註一)
- 第四號 米國向「ラグ」ニ關スル取極(註一)
- 第五號 佛國向磁器ニ關スル取極(註一)
- 第六號 佛國向鮭罐詰ニ關スル取極(註一)
- 第七號甲 蘭印向「セメント」ニ關スル當業者間取極(註二)

句ハ之ヲ避ケルコト致度シ

(註三)蘭印向「セメント」ニ付テハ彼我當業者間ニ別紙第八號「輸出組合法英譯文」

(註一)鉛筆及「ラグ」ニ關スル取極ハ米國側ト諒解ノ上取極ノ形式ヲ採ラス米國側ヨリ提出ノ本文書ノ一隅ニ在米本邦大使「イニシアル」ヲ記入シタル上先方ニ返シ當方其ノ「コピイ」ヲ保持スル形式ニ依リタルモノナリ  
(註二)佛國向磁器及鮭罐詰ニ關スル取極ノ往輸中ニハ  
En prenant acte de....., " de l'accord de mon gouvernement...." 等恰モ政府間取極ナルカノ如キ印象ヲ與フル虞アル字句ヲ使用シアル處我方トシテハ成ル可ク政府ハ表面ニ起タサル様致度キ考ナルニ付右ノ如キ虞アル字

(欄外記入)

外國ニ於ケル本邦商同士ノ競争關係ヲモ警告調整ノ要アルニツキ此點取調報告ヲ求メテハ如何



以上所述ノ如ク輓近我通商ノ保護乃至促進方ニ關スル事務ハ頗ル繁劇トナリ且我國民生存上ノ大局的見地ヨリ之カ重要サハ遠ニ增大スルニ至リタルノ事情ニ鑑ミ本省ニ於テハ本省及在外通商機關ノ擴充ヲ以テ刻下ノ急務ナリト認メ昭和十年度豫算編成ニ當リテハ此ノ點ニ十二分ノ考慮ヲ拂ヒ新規費目ヲ計上シタルニ付右通過ノ曉ハ我對外通商機關ハ一段ト強化セラルル次第ナルヲ以テ在外各公館ニ於テハ一致協力我通商發展ノ爲一層ノ努力アラムコトヲ切望ス